

仮想通貨はどう?

有望な投資先がなかなか見つからないなか、新たな価値貯蔵（保存）手段や資産運用の対象として、インターネット上の仮想通貨「ビットコイン」に注目する人も少なくない。ビットコインは果たして、既存の通貨に代わる存在となりうるのだろうか。

ビットコインとは、既存の通貨のような硬貨や紙幣を持たないデジタルな疑似通貨の一種で、世界の仮想通貨の利用の大半を占める。中央銀行のような管理者は存在せず、参加者全体がビットコインの取引を相互に監視することが可能な仕組みによって信用を維持している。銀行などを介すことなく国境を越える取引が可能。日本では複数箇所ある交換所で円など法定通貨と交換することができ、一部ではビットコインによる決済を取り入れている店舗もある。

2009年から運用が始まったビットコイン相場は、対米ドルで13年、一時1BTC（ビットコインの単位）=1137ドル超まで上昇。その後、15年初には200ドルを切る水準まで下落したが、現在は400ドル前後まで値を戻している（図1）。その背景には、巨大なビットコイン市場となった中国で、人民元安からの逃避などによって取引量が急増していることがある。中国での取引量は15年9月に約20億ドルだったのが、12月には約320億ドルまで一気に膨らんだ。

対ドルでのビットコイン相場は、昨年9月末から

12月末まで約82%上昇したが、この間、日経平均株価は約9%の上昇にとどまっており、個人投資家の一部には魅力的な投資対象として考える動きもあるようだ。日本でも現在、1日当たり数億円程度の仮想通貨が売買されているとされ、対円では現在、1BTC=4万6000円前後で推移している。

しかし、現

時点でビットコインを資産運用の対象とするには、いくつかの懸念がある。その一つが、ボラティリティー（変動性）の高さである。13年の高値からの急落は、中国におけるビットコインへの規制強化や、当時世界最大規模だった日本の取引所「マウントゴックス」破綻が要因だったが、ビットコイン相場が比較的堅調だった15年でも、そのボラティリティーはドル・円相場や日米の株価に比べても極めて高いと言える（図2）。

交換業者を規制対象に

ボラティリティーの過度な高さは、決済や送金といった実需を目的とする人や企業にとっては、価値が安定しないために非常に使いにくい。こうした実需目的の利用が今後、敬遠されるようになれば、ビットコイン市場は結果的に、価格変動による利益追求を目的とした、投機的な取引が大半を占めることになる可能性もある。そのため、現状では長期的な視点に立った資産価値の保全や運用の対象に向いているとは言いがたい。

また、仮想通貨に対する法整備は始まったばかりである。マウントゴックスの破綻では、代表者が顧客からの預かり資金を着服していたことが明らかになった。金融庁は今年3月、仮想通貨に関する規制を盛り込んだ資金決済法改正案を国会に提出し、交換業者への登録制導入のほか、預かり資産の分別管理の義務付けなどを盛り込んだが、利用者が安心して仮想通貨を利用するためには、万一反還ができなくなった場合に備える「投資者保護基金」のようなセーフティーネットの構築も必要であろう。

さらに税の問題がある。日本の財務当局は仮想通貨の取引に際し、要件を満たせば所得税や法人税、消費税の課税対象になるとの方針を示している。つまり、税制上、仮想通貨はモノやサービスと同じ扱いであるため、特に消費税では仮想通貨の売買に加え、仮想通貨でモノ・サービスを購入する際も課税対象となっている。二重課税が生じているとの指摘もあるが、税制が仮想通貨に対応するには相当な時間を要す可能性が高く、当面は税制上も不利な扱いを受けることになる。

ビットコインは通貨の新しい可能性を示しているが、利用者保護や税制の面でもまだまだ発展途上にすぎない。今後中国人民元安の傾向が強まれば、逃避先として再びビットコインへと資金が流入し、交換レートも上昇する可能性があるが、短期的な値上がりばかりに目を奪われ、安易にビットコインを資産運用の対象に含めることには慎重になるべきだろう。

**乱高下するビットコイン
運用対象として発展途上**
ビットコインには二重課税が生じているとの指摘もあり、資産価値を保全する手段としては課題が多い。

やさしく だいすけ
矢作 大祐
(大和総研研究員)

図1 ビットコインの対米ドル相場

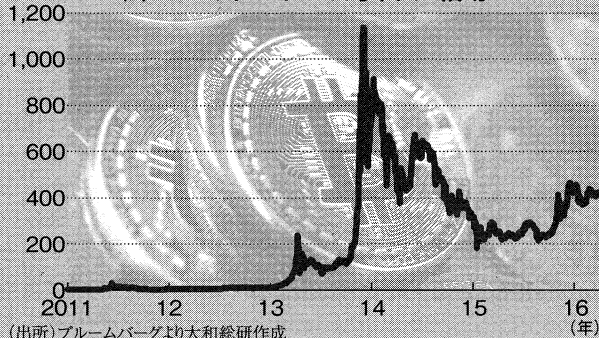
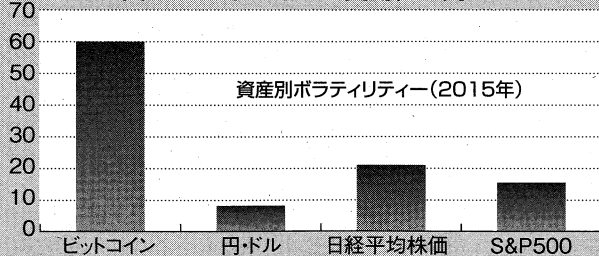


図2 ビットコインの変動性は高い



(注)ボラティリティーは、日次変化率の標準偏差を年率化したもの。
ビットコインはドル/BTC交換レート、S&P500はドル建てベース
(出所)ブルームバーグ日本経済新聞社、S&P Dow Jones Indices LLCより大和総研作成